

## 株主メモ

決算期	毎年3月31日(年1回)
定時株主総会	毎年6月開催
配当金	3月31日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載された株主または信託の受託者、登録質権者に定時株主総会終了後お支払いいたします。中間配当金は、取締役会の決議があった場合に、9月30日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載された株主または信託の受託者、登録質権者にお支払いいたします。
基準日	毎年3月31日(定時株主総会において議決権を行使することができる株主の確定日) そのほか、必要ある場合は取締役会の決議によりあらかじめ公告いたします。
名義書換代理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物の送付先および連絡先)	〒183 8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 東京 府中 (042) 351-2211 大阪 千里 (06) 6833-4700
同取次所	住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店
1単位の株式の数	1,000株
単位未満株式買取	
買取請求取扱場所	上記名義書換代理人がお取扱いします。
手数料	下記算式における1単位 × 買取株式数 売買委託手数料相当額 × 1,000株 (算式) 1株当たりの売買値段に1単位の株式数を乗じた合計金額のうち 100万円以下の金額につき 1.150% 100万円を超え500万円以下の金額につき 0.900% 500万円を超え1,000万円以下の金額につき 0.700% 1,000万円を超え3,000万円以下の金額につき 0.575% 3,000万円を超え5,000万円以下の金額につき 0.375% (円位未満の端数を生じた場合には切り捨てる。) ただし、1単位当たりの算定金額が2,500円に満たない場合には、2,500円とする。
公告掲載新聞	東京都において発行する日本経済新聞

 **フクダ電子株式会社**

本社 東京都文京区本郷3-39-4 ☎(03)3815-2121(代)

ホームページ <http://www.fukuda.co.jp/>

## 第53期 事業報告書

平成11年4月1日から平成12年3月31日まで

 **フクダ電子株式会社**

## 「医療と健康をつなぐテクノロジー」

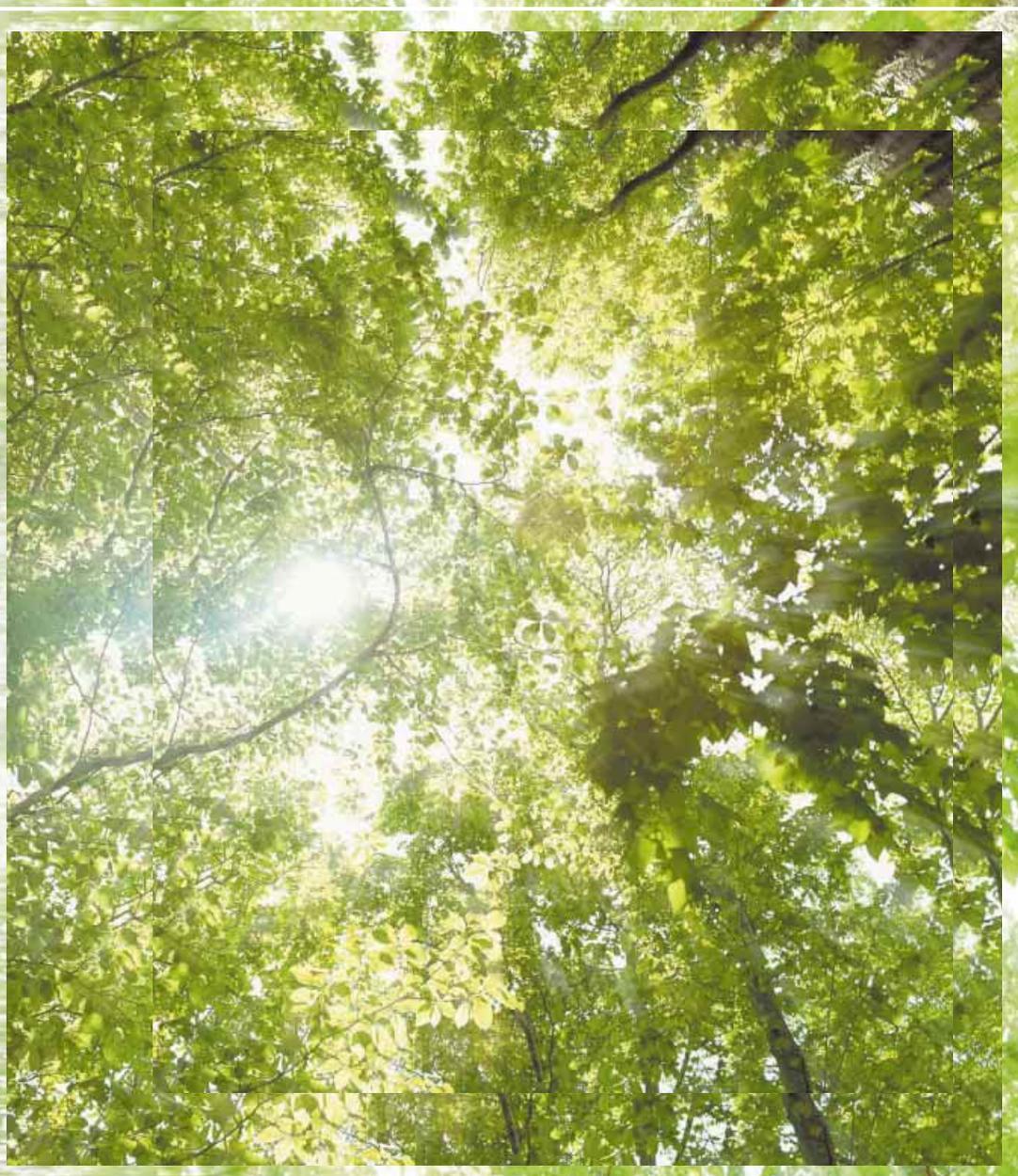
フクダ電子は創業以来、半世紀以上にわたって心臓循環器系を中心とするME( Medical Electronics ) 機器のスペシャリストとして、国産第一号の心電計の開発をはじめ、この「専門分野」における製品ラインの拡充を進めてまいりました。

そして現在、急激な高齢化社会の到来は他に例を見ないほどの早さとも言われ、今後の医療行政に急務な課題となっております。

フクダ電子では「医療と健康をつなぐテクノロジー」というコミュニケーションワードを掲げ、2000年の新しい時代に向けて、医療の進歩とともに優れたテクノロジーで、医療関係者へ提供することにより、人々の健康へつなげていこうと考えております。

これまでは主として循環器中心に病気の診断と治療に役立つ製品・サービスを提供してまいりましたが、これからはそれにとどまらず、高齢化社会・医療福祉を考慮し病気の予防や健康の維持管理に広げてまいります。

また、高機能で信頼性が高く、取り扱いが容易でしかも低コストの医療機器の開発と普及を目指してまいります。



## ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は当社の事業活動に対し格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

第53期営業概況のご報告にあたり、ご挨拶申し上げます。

昨今の企業を取り巻く経営環境は、これまでの常識を打ち破るような変革の波が押し寄せております。それは、系列の枠を超えた提携、外国企業をも含めた合併などで、企業のグローバルな大競争時代への生き残りをかけた懸命な知恵の創出であります。

こうした産業構造の中で、当医療業界は医療制度改革の過程であり、医療機関の経営に少なからず影響を及ぼし、販売価格の低下を伴う競争の激化が進展しております。

このような状況の中で、当社は強力な販売体制のもと全社あげての営業活動により、売上高は前年比5.7%増の448億円、当期利益も過去最高の27億円を達成し、利益配当金についても1株25円（普通配当18円、創業60周年記念配当2円、特別配当5円）となりました。

心臓・循環器系を中心に総合的な医療機器の製造・販売を通じて、人々の健康に大きく貢献してきた当社は、昨年創業60周年という節目を通過しました。

これを機に2000年を新創業元年と位置づけ、変化する医療ニーズに即した商品戦略の再構築に加え、品質向上とコスト低減に重点を置き、医療機器メーカーとしての社会的使命を積極的に果たして行きたいと考えております。さらに「顧客満足度の向上」「輸出売上高の拡大」「IR（投資家向け広報）活動」を推進し、事業発展に向けて果敢に挑戦してまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



取締役社長

福田 考太郎

## 高齢化社会や医療の制度改革へ 応える在宅医療への積極的な取組み

在宅医療は主に

- (1) 寝たきりなどでなかなか病院へ通うことができない方
- (2) 自宅での療養生活を強く希望される方
- (3) 病院退院後だが体調が思わしくなく、医師の定期的な診察が必要な方
- (4) 介護の手が少なく、日頃ひとりでのいるのが不安な方

を対象としてケアが行われています。

平成12年1月の総務庁の人口推計によると、わが国の65歳以上の高齢者数は前年より679千人増え、21,186千人（総人口に対する割合は16.7%）、医療施設数は病院9,268、一般診療所92,309となっています。

また、慢性の呼吸不全患者を対象とした在宅医療用の酸素濃縮器市場の患者数は、1997年度で68,000人、1998年度で82,000人と推計されており毎年8,000～10,000人の増加傾向にあり、1999年度では90,000人に達すると予測されています。

この市場では現在、開業医での在宅療法への取組みが進んでおり、今後、市場の拡大が一層見込

まれています。

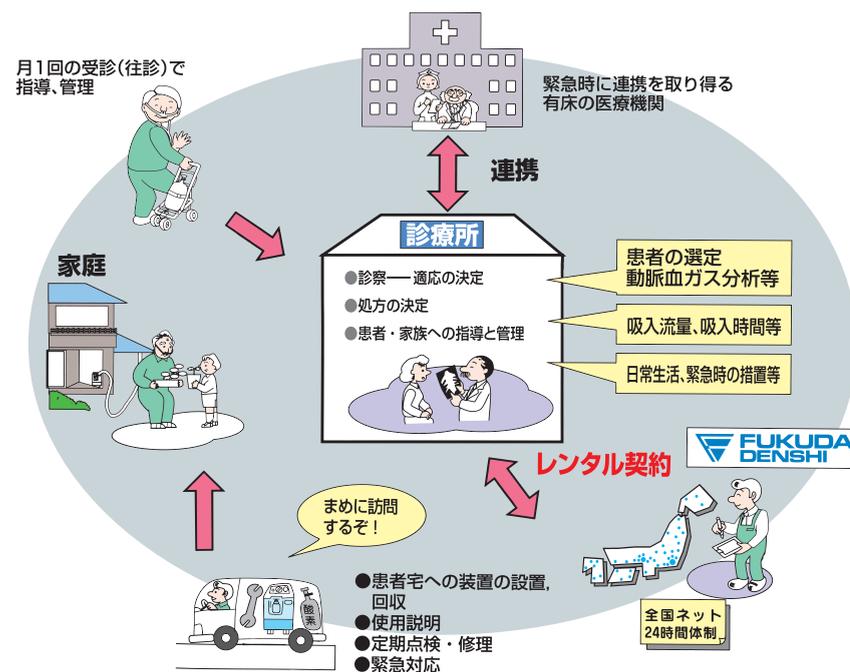
このような状況の中、フクダ電子は社会的な医療ニーズにお応えすべく、いち早く慢性の呼吸不全患者を対象とした在宅医療用の酸素濃縮器を専門に取り扱う「フクダライフテック(株)」を全国17販売会社と27営業所で展開し、開業医を中心とした積極的な営業活動を行った結果、業界内シェア20%を超えるまでになりました。

また、創業時から地域密着型の企業を標榜し、心電計やペースメーカーなどを取り扱う24販売会社、48営業所を有し全国の主要都市を中心とした業界最大の営業販売体制を作り上げ、病院をはじめ一般診療所など幅広く営業活動を行っております。

フクダ電子は、創業60年を迎えたいまも、様々な医療ニーズにお応えすべく、パイオニアとしてのこころを大切に、グループを挙げて極め細やかなサービスを心がけております。



## 在宅酸素療法サポートサービス



## 在宅酸素療法（遠隔医療支援）



フクダ電子は、医学学会、研究会を支援し、  
医学の進歩に貢献しております。



（ 液晶携帯型超音波装置の  
販売が好調 ）

液晶を使用した往診に使える小型超音波画像診断装置UF-4200Rは、開業医・個人病院を中心に好調な売上となりました。国産初の液晶画面とコンパクトさ、操作性が決め手となりました。

（ 在宅関連引き続き好調  
いびき外来検査に参入 ）

在宅酸素のレンタル台数が2万台を突破し続伸中、新たにいびき外来検査システムを発売しました。このシステムは睡眠ポリグラフを使い夜間睡眠中の呼吸停止（スリープアプnea）を検査し、突然死を予防するもので、今後が期待されます。

（ 生理機能検査データ管理  
システムの受注好調 ）

医療情報の電子化に対応した生理機能検査データの管理システムHiMEDIONが発売され、全国基幹病院に数セット納入されました。病院におけるデータ管理の重要性が叫ばれている折、時流に乗ったシステムであり、今後更に発展が見込まれます。

（ 創業60周年を記念して  
コミュニケーションワードを作成 ）

「医療と健康をつなぐテクノロジー」このコミュニケーションワードをさまざまな宣伝・広報ツールに活用し、フクダ電子の企業イメージの統一と定着をはかります。



（ 企業の認知度アップを目指して  
東京駅構内に広告を引き続き掲出 ）

昨年に引き続き、東京駅のJRから有楽町線までの通路に、当社のコミュニケーションワードをテーマにした広告を掲出しました。





解析付心電計

心電図をコンピュータにより解析し、心疾患診断の補助を行うことができるコンピュータ付心電計です。



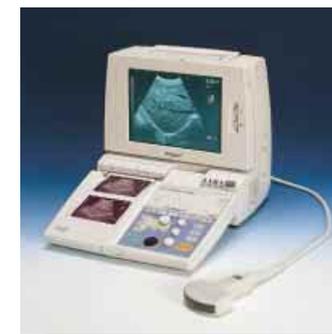
長時間心電図記録解析装置

夜間を含む日常生活での心電図を24時間連続収録したデータの中から、心臓の異常の有無を判断できるシステムです。



生体情報モニター

心電図、呼吸などを無線方式により、監視する装置です。高輝度カラー液晶を採用し、より見やすくなり、手術室やCCUなどで活躍しています。



汎用超音波画像診断装置

心臓および腹部の断層像を抽出し、各種疾患を診断する機器です。心臓弁の異常、腎臓結石などの診断によく活用されています。



麻酔器

人工呼吸器機能と麻酔器機能を兼ね備えた最新鋭麻酔器です。



酸素濃縮器

身体に必要な酸素を十分に取込みめない慢性呼吸不全患者に、家庭で酸素を投与するために、空気中の酸素を濃縮生成する装置です。在宅医療で最も使用されている装置で、患者の方に大変喜ばれています。



自動血球計数 CRP測定装置

感染症・炎症の早期診断に有用なCRP測定付きの血球カウンターです。高速処理、少量採血（18 $\mu$ l）の特徴があり、今、最も脚光をあびている商品です。



PTCA カテーテル

冠動脈の中に風船状の細い管を挿入して、狭くなった血管を拡張します。心筋梗塞の治療に有効です。

## 連結決算概要

### 連結貸借対照表(要旨) (平成12年3月31日現在) 単位: 百万円

科目	金額
<b>(資産の部)</b>	
流動資産	56,926
現金預金	22,543
受取手形及び売掛金	18,180
たな卸資産	13,111
繰延税金資産	1,733
その他の	1,568
貸倒引当金	211
固定資産	24,459
有形固定資産	12,291
無形固定資産	920
投資その他の資産	11,247
投資有価証券	4,216
繰延税金資産	3,978
その他の	3,063
貸倒引当金	10
為替換算調整勘定	31
資産合計	81,416

科目	金額
<b>(負債の部)</b>	
流動負債	24,816
支払手形及び買掛金	10,849
短期借入金	6,984
未払法人税等	3,213
その他	3,768
固定負債	2,818
退職給与引当金	945
その他	1,873
負債合計	27,635
少数株主持分	52
<b>(資本の部)</b>	
資本金	4,387
資本準備金	8,683
連結剰余金	40,658
自己株式	0
資本合計	53,728
負債、少数株主持分及び資本合計	81,416

## 営業の概況

### 1. 営業の経過および成果

当期における日本経済は、政府による経済政策の効果が見られ始め、金融機関、情報技術関連企業を中心として景気に回復の兆しが見られましたが、失業率の悪化や個人消費の低迷により、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

一方、世界経済は、アメリカが好景気を維持し、ヨーロッパは本格的な回復基調に乗り、アジアも順調に回復いたしました。わが国の輸出環境は夏以降に円高が急進したため、極めて厳しいものとなりました。

また、医療機器業界におきましては、医療費抑制策の一環としての特定保険医療材料価格の再見直しが始まるなど、市場環境は引き続き厳しい状況下であり、価格競争も一段と激しさを増してまいりました。

このような状況の中で、当社は強力な販売体制のもと全社あがりの営業活動により、売上高448億78百万円(前期比5.7%増)を達成することができ、利益につきましては、経常利益53億94百万円(前期比21.4%増)、当期利益27億54百万円(前期比20.0%増)となりました。

さらに、市場別に売上高を見ますと、国内は418億76百万円(前期比7.7%増)、輸出は中南米・アジア向け輸出の減少により30億2百万円(前期比15.9%減)となりました。

これらを部門別に見ますと、生体検査装置部門では更新需要の掘り起こしを主体とする営業活動の結果、心電図自動解析装置、ホルター端末が伸び、超音波画像診断装置は価格競争が激しかったものの、新製品の投入により売上を伸ばすことができました。また、パルスオキシメーターや血球カウンターが順調に推移し、売上高176億5百万円(前期比9.6%増)を達成いたしました。

生体情報モニター部門は、国内は小型モニターやシステムモニターが売上を伸ばしましたが、輸出は円高などの影響を受け減少し、売上高42億57百万円(前期比1.0%

増)となりました。

治療装置部門においては、QOL( Quality of Life : 生活の質)向上や在宅医療への社会的要求が高まる中で、在宅酸素濃縮器やペースメーカーが伸び、新製品の投入によりカテーテルの売上も増加し、売上高126億77百万円(前期比6.1%増)を達成いたしました。

その他部門は、前記各部門の器械装置に使用する付属品および消耗品が主なものですが、空気殺菌装置の伸びや新製品投入によるディスク電極の売上増により、売上高103億300百万円(前期比10%増)となりました。

### 2. 設備投資および資金調達の状況

当期の設備投資の総額は10億25百万円で、主として子会社移転のための土地の購入ならびに社屋の新築、工具器具等の購入のための投資であります。なお、設備投資の所要資金は自己資金を充当し、当期中に特別の資金調達は行っておりません。

### 3. 会社が対処すべき課題

現在、医療費抑制策に基づき、行政による医療体系の見直しが進められており、医療施設においても、急性期疾患対応型・長期療養型の区分、地域医療支援病院・かかりつけ医制度等の医療体系が形作られてきております。

このような医療環境の変化のもと、在宅医療・救急医療・地域医療・予防医学等への対応は医療機器業界にとって重要な使命となっており、また、グローバル化の進展に伴い、市場での競争もより一層熾烈になっております。

当社といたしましては、変動する社会情勢ならびに市場ニーズに的確に対応するため、経営のスピード化を推進するとともに、開発力の強化、販売・サービス体制の強化を図り、顧客満足度の向上に努めME機器メーカーとしての社会的使命を遂行いたします所存でございます。

さらに、今後IR(投資家向け広報)活動をより積極的に推進し、当社に対する一層のご理解とご支援を承りたいと考えております。

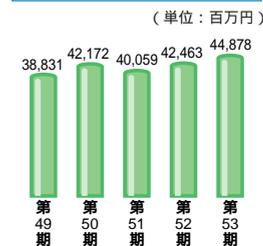
### 連結損益計算書(要旨) (平成11年4月1日から平成12年3月31日まで)

科目	金額
営業収益	65,348
営業費用	56,178
営業利益	9,169
営業外収益	580
営業外費用	384
経常利益	9,365
特別利益	557
特別損失	1,735
税金等調整前当期純利益	8,188
法人税、住民税及び事業税	4,567
法人税等調整額	722
少数株主利益	17
当期純利益	4,326

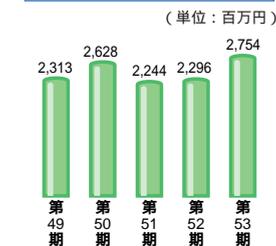
### 連結剰余金計算書 (平成12年3月31日現在)

科目	金額
連結剰余金期首残高	31,771,464
その他の剰余金期首残高	
利益準備金期首残高	4,989,417
過年度税効果調整額	
連結剰余金減少高	
配当金	349,247
役員賞与	79,110
(うち監査役賞与)	(1,030)
その他	382
当期純利益	4,326,385
連結剰余金期末残高	40,658,528

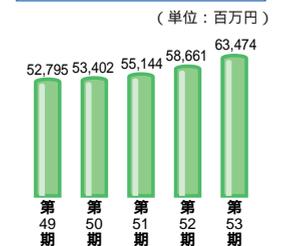
### 売上高



### 当期利益



### 総資産



## 貸借対照表 (平成12年3月31日現在)

### 資産の部

科目	金額
<b>流動資産</b>	45,155,337 千円
現金及び預金	16,392,094
受取手形	37,134
売掛金	17,004,533
有価証券	200,038
商品	1,613,710
製成品	2,596,157
原材料	957,417
仕掛品	663,243
貯蔵品	142,198
繰延税金資産	810,737
短期貸付金	4,000,050
その他の流動資産	1,293,021
貸倒引当金	555,000
<b>固定資産</b>	18,318,670
<b>有形固定資産</b>	5,507,810
建物	2,178,110
構築物	117,046
機械装置	44,902
車両運搬具	16,271
工具器具備品	448,512
土地	2,701,467
建設仮勘定	1,499
<b>無形固定資産</b>	784,902
特許権	475,520
ソフトウェア	293,880
その他の無形固定資産	15,500
<b>投資等</b>	12,025,958
投資有価証券	4,167,072
子会社株式	3,750,053
出資金	61,879
子会社出資金	139,252
長期前払費用	302,896
繰延税金資産	2,166,562
保険積立金	1,671,689
その他の投資等	1,563,552
貸倒引当金	1,153,000
投資評価引当金	644,000
<b>資産合計</b>	<b>63,474,007</b>

貸借対照表関係注記

- 子会社に対する短期金銭債権 20,717,218千円
- 子会社に対する長期金銭債権 1,255,937千円
- 子会社に対する短期金銭債務 4,286,035千円
- 有価証券に含まれている自己株式 418千円
- 有形固定資産の減価償却累計額 4,830,107千円
- 貸借対照表に計上した固定資産のほか、リース契約により使用している電子計算機一式があります。
- 重要な外貨建て資産及び負債  
売掛金 139,022千円(US\$ 1,309千円)  
112,074千円(STG £ 662千円)  
927,237千円(US\$ 8,586千円)

### 負債の部

科目	金額
<b>流動負債</b>	13,861,257 千円
支払手形	5,557,063
買掛金	4,232,167
未払金	1,742,390
未払法人税等	1,780,843
賞与引当金	460,000
その他の流動負債	88,791
<b>固定負債</b>	1,317,712
退職給与引当金	523,412
役員退職慰労引当金	794,300
<b>負債合計</b>	<b>15,178,969</b>
<b>資本の部</b>	
<b>資本金</b>	4,387,000
<b>法定準備金</b>	9,780,313
資本準備金	8,683,563
利益準備金	1,096,750
<b>剰余金</b>	34,127,724
任意積立金	26,348,214
事業拡張積立金	300,000
固定資産圧縮積立金	48,214
別途積立金	26,000,000
当期末処分利益	7,779,510
(うち当期利益)	(2,754,529)
<b>資本合計</b>	<b>48,295,038</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>63,474,007</b>

- 子会社株式 883,754千円(US\$ 6,800千円)
- 子会社出資金 139,252千円(US\$ 1,330千円)
- その他の投資等 1,255,937千円(US\$11,831千円)
- 買掛金 377,226千円(US\$ 3,553千円)
- 786,349千円(EUR 7,720千円)
- 101,521千円(US\$ 956千円)
- 未払金 27,794千円
- 保証債務 159,287千円
- 国内子会社の金融機関借入に対する保証 141円96銭
- 輸出手形割引高
- 1株当たり当期利益

## 損益計算書 (平成11年4月1日から平成12年3月31日まで)

	科目	金額	金額
		千円	千円
経常損益の部	営業損益の部	営業収益	44,878,997
		営業費用	(32,450,962)
		営業利益	7,943,382
営業外損益の部	営業外収益	93,755	
		営業外費用	(356,157)
		営業外利益	560,221
特別損益の部	経常利益	2,889	
		退職年金	(90,080)
		その他の営業外費用	(7,262)
	特別利益	557,922	
	特別損失	(25,289)	
	固定資産除却損	715,720	
	役員退職金	99,490	
	ゴルフ会員権評価損	679,168	
	投資有価証券評価損	1,519,669	
	税引当期利益	4,432,808	
	法人税、住民税及び事業税	(2,250,000)	
	法人税等調整額	571,721	
	当期繰越利益	2,754,529	
	前年度繰越利益	2,778,441	
	過年度税効果調整額	2,405,577	
	税効果会計適用に伴う固定資産圧縮積立金取崩高	34,985	
	中間配当額	(194,024)	
	当期末処分利益	7,779,510	

損益計算書関係注記

子会社との取引高	
売上高	41,414,200千円
仕入高	11,994,749千円
営業取引以外の取引高	621,541千円

## 利益処分

科目	金額
<b>当期末処分利益</b>	7,779,510,088 円
これを次のとおり処分いたします。	
利益配当金	291,056,610
(1株につき)	
普通配当9円	
特別配当5円	
記念配当1円	
役員賞与金	33,920,000
(うち監査役賞与金)	(1,200,000)
別途積立金	5,000,000,000
次期繰越利益	2,454,533,478

(注) 1. 平成11年12月10日に194,024,940円(1株につき普通配当9円、記念配当1円)の中間配当を実施いたしました。  
2. 利益配当金は、自己株式226株を除いて計算しております。

## 会社概要

設立年月日 昭和23年7月6日  
 資本金 43億8,700万円  
 営業目的 医用電子機器の製造・販売および輸出入  
 主な取引銀行 株式会社東京都民銀行  
 株式会社三和銀行  
 株式会社東京三菱銀行  
 株式会社富士銀行  
 株式会社第一勧業銀行  
 株式会社北陸銀行  
 商工組合中央金庫  
 住友信託銀行株式会社

### 役員 (平成12年6月29日現在)

代表取締役社長	福田孝太郎
常務取締役	高橋隆
常務取締役	原口輝夫
常務取締役	山村剛康
取締役	大表良一
取締役	鈴木勇
取締役	島田正勝
取締役	瀬川進
取締役	岩本雅行
取締役	山本昇
取締役	有吉良幸
常勤監査役	小川正法
監査役	岡本芳鐵
監査役	田村彌
監査役	保田豊

### 主な提携・仕入会社

シーメンス社 (ドイツ)  
 シーメンス・エレマ社 (スウェーデン)  
 ペースセッター社/セント・ジュード・  
 メディカル社グループ (スウェーデン)  
 ノバメトリックス・メディカル・  
 システムズ社 (U.S.A.)  
 ソニー株式会社  
 ミノルタ株式会社  
 富士通株式会社  
 株式会社堀場製作所  
 TDK株式会社  
 ゲンゼ株式会社

### 主な納入先

全国各大学医学部付属病院  
 官公私立病院  
 診療所  
 その他医療機関

### 株式の状況

発行する株式の総数 30,000,000株  
 発行済株式の総数 19,404,000株  
 当期末株主数 2,359名

### 海外法人会社

FUKUDA DENSHI USA., INC.  
 [アメリカ・ワシントン州]

資本金: US \$ 3,300,000  
 事業内容: 医療用電子機器開発・製造  
 出資比率: 100%

北京福田電子医療仪器有限公司  
 [中国・北京]

資本金: US \$ 1,400,000  
 事業内容: 医療用電子機器製造・販売  
 出資比率: 95%



**本社**  
 東京都文京区本郷3丁目39番4号  
 (〒113-8483)  
 Tel.(03)3815-2121(代)



**本郷事業所**  
 東京都文京区本郷2丁目35番8号  
 (〒113-8420)  
 Tel.(03)3814-1211(代)



**白井事業所**  
 千葉県印旛郡白井町中宇中台305-1  
 (〒270-1495)  
 Tel.(047)492-2011(代)

### フクダ電子グループ

フクダ電子北海道販売株式会社  
 フクダ電子北東北販売株式会社  
 フクダ電子南東北販売株式会社  
 フクダ電子新潟販売株式会社  
 フクダ電子北関東販売株式会社  
 フクダ電子西関東販売株式会社  
 フクダ電子南関東販売株式会社  
 フクダ電子東京販売株式会社  
 フクダ電子東京西販売株式会社  
 フクダ電子横浜販売株式会社  
 フクダ電子静岡販売株式会社  
 フクダ電子長野販売株式会社  
 フクダ電子北陸販売株式会社  
 フクダ電子名古屋販売株式会社  
 フクダ電子三岐販売株式会社  
 フクダ電子京滋販売株式会社  
 フクダ電子近畿販売株式会社  
 フクダ電子南近畿販売株式会社

フクダ電子兵庫販売株式会社  
 フクダ電子岡山販売株式会社  
 フクダ電子四国販売株式会社  
 フクダ電子広島販売株式会社  
 フクダ電子西部北販売株式会社  
 フクダ電子西部南販売株式会社  
 フクダライフテック北東北株式会社  
 フクダライフテック南東北株式会社  
 フクダライフテック新潟株式会社  
 フクダライフテック常葉株式会社  
 フクダライフテック関東株式会社  
 フクダライフテック東京株式会社  
 フクダライフテック横浜株式会社  
 フクダライフテック長野株式会社  
 フクダライフテック北陸株式会社  
 フクダライフテック中部株式会社  
 フクダライフテック三岐株式会社  
 フクダライフテック関西株式会社

フクダライフテック南近畿株式会社  
 フクダライフテック兵庫株式会社  
 フクダライフテック中国株式会社  
 フクダライフテック四国株式会社  
 フクダライフテック九州株式会社  
 フクダバイタルテック株式会社  
 フクダインターベンションシステムズ株式会社  
 FUKUDA DENSHI USA., INC.  
 北京福田電子医療仪器有限公司  
 株式会社フクダ電子多賀城研究所  
 フクダ電子技術サービス株式会社  
 エフアンドエル株式会社  
 株式会社フクシン  
 株式会社エム・イー・タイムス